

## 実践例「学習指導の深化・充実」

### 第4課題 「個性の伸長を重視した指導計画・実践・評価と充実」

#### I 学校名 稚内市立天北小中学校【宗谷管内】

#### II 研究の概要

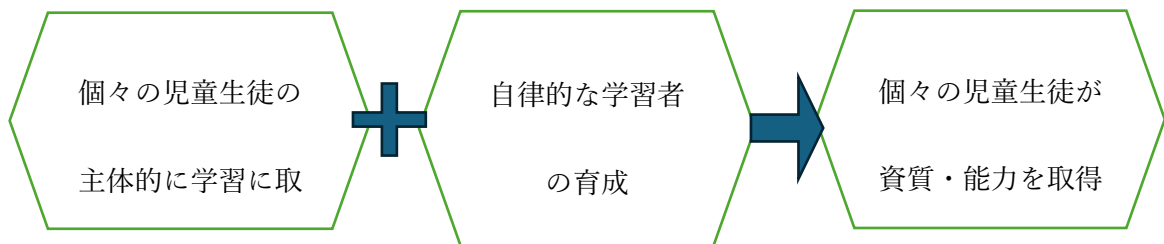
##### 1. 研究主題

主体的・対話的な授業を通し、深い学びを追求する児童・生徒の育成  
～児童生徒の主体性を育み、学力の向上を図る取組みを通して～

##### 2. 研究の柱（令和6年度学校研究～3か年計画3年目）

###### 研究仮説2

「主体的・対話的で深い学び」を授業に位置づけることで、積極的な姿勢で学習に向き合い、学力の定着がはかれるであろう。



##### 3. 研究仮説

（仮説 1）各教科で、個別最適な学びを意識した支援の在り方と、言語活動を充実させることにより、児童生徒一人一人が基礎基本を身につけ、「読む力」「話す力・聞く力」を高めることができるだろう。

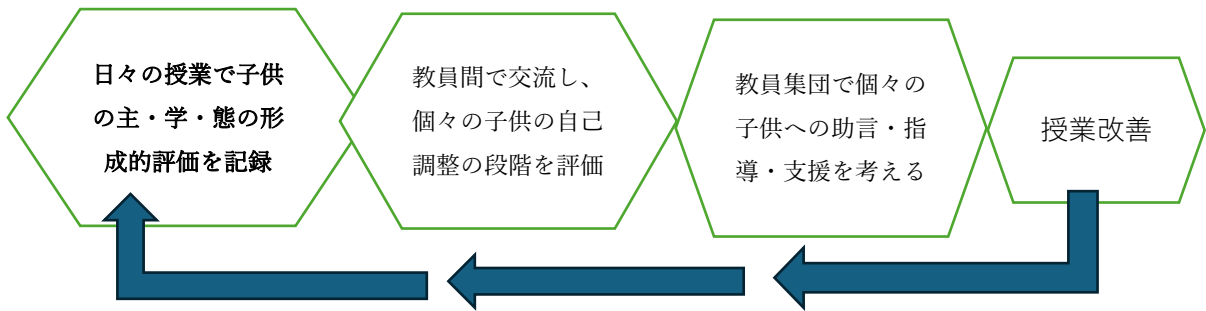
（仮説 2）「主体的対話的で深い学び」を授業に位置づけることで、積極的な姿勢で学習に向き合い、学力の定着を図れるだろう。

##### 4. 研究内容

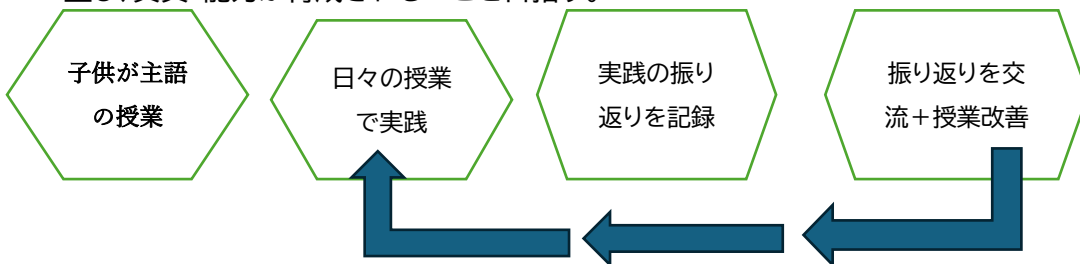
- ① 「スタディログを活用した個別最適な児童生徒の主体的に学習に取り組む態度の育成。
- ② 「主体的・対話的で深い学びを実現するための「子どもが主語の授業」の実施

###### 【スタディログの目的】

児童生徒の「主体的に学習に取り組む態度」を定期的に教員間で交流し、「個別最適な学び」となるような助言・支援を考え実行することで、個々の児童生徒が自らの学習を調整し、資質・能力が育成されることを目指す。



児童生徒の「主体的に学習に取り組む態度」を定期的に教員間で交流し、「個別最適な学び」となるような助言・支援を考え実行することで、個々の児童生徒が自らの学習を調整し、資質・能力が育成されることを目指す。



## 5. 研究の成果と課題

### ① 校内研修で3回、スタディログのチェックを行った。

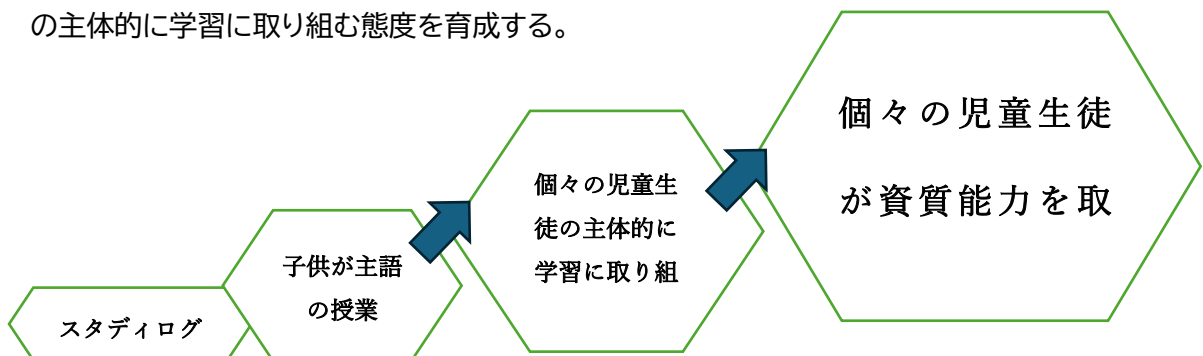
グループごとに子供の主・学・態の現状を評価し、個々の子供への助言・指導、支援を考え、日々の授業改善に生かすことができた。一方で評価をしやすくしたり、子供が学習改善をしたりすることができるように基準を明確にする必要がある。

### ② 子供が主語の授業について

- ・個人でじっくりと課題や問題に取り組む時間は十分に確保されている。
- ・クラスメイトと協働して課題を解決する場面が設けられている。
- ・困ったときに教師が助けてくれたり、アドバイスをしたりしている。
- ・自分の意見がクラスメイトと違ってためらわずに発表できる児童が多い。

## 6. 今後に向けて

様々な方法で課題解決や問題解決に取り組ませることができていると考えられるのでどのような方法で解決していくかを子供に自己決定させる場面を設定してみる。その際十分な時間を確保する。学習を振り返らせ、それに対して教員が評価を返すことで児童生徒の主体的に学習に取り組む態度を育成する。



## 算数科 学習指導案

日時 令和 6年 9月 27日(金) 5校時  
 児童 3年生 1名 4年生 4名  
 授業者 布施 悟

### 【学校教育目標(めざす子ども像)】

～自立から自律へ～ 1. 自ら学ぶ子 2. 豊かにかかわる子 3. 体をきたえる子

### 【研究主題】

「主体的・対話的な授業を通し、深い学びを追求する児童・生徒の育成」  
 ～児童生徒の主体性を育み、学力の向上を図る取り組みを通して～

### 【研究仮説】

仮説1) 各教科で、個別最適な学びを意識した支援の在り方と、言語活動を充実させることにより、児童生徒一人一人が基礎基本を身に付け、「読む力」「話す・聞く力」を高めることができるだろう。  
 仮説2) 「主体的・対話的で深い学び」を授業に位置付けることで、積極的な姿勢で学習に向き合い、学力の定着を図れるであろう。

	(3) 年生	(4) 年生
1. 単元名	「かけ算の筆算(1)」	「がい数の使い方と表し方」
2. 本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>2位数×1位数の計算の仕方について、様々な方法で考え、説明する。(思考・判断・表現)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>概数で表す方法に着目して、概数を用いる目的に応じて適切に処理する方法を考え、説明する。(思考・判断・表現)</li> <li>概数を用いて見積もりをしたことを振り返る。</li> <li>課題に対し多面的に考えるなど、粘り強く取り組む。</li> <li>概数を用いるよさに気づき、生活に生かそうとする。(態度)</li> </ul>



## 国語科 学習指導案

日時 令和6年9月27日(金) 5校時  
 児童 6年生5名 5年生4名  
 授業者 川越 さおり

	(5) 年生	(6) 年生
1. 単元名	多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう。 「世界遺産 白神山地からの提言 ～意見文を書こう～」	「言葉は時代とともに」
2. 本時の目標	(5) 年生	(6) 年生
②本時の目標	・意見文に書きたい自分の考えをグループで交流し、意見をまとめる。 〔思判表〕	・身のまわりの事物から、言葉の変化について調べることができる。〔態度〕

### 3. 本時の展開

( 5 ) 年生			( 6 ) 年生		
児童の活動 (予想される反応)	授業者の働きかけ ◆評価の観点 ◇評価方法 ◎仮説との関わり	過 程	過 程	児童の活動 (予想される反応)	授業者の働きかけ ◆評価の観点 ◇評価方法 ◎仮説との関わり
① 学習内容を確認かめ、見通しを持つ。 		導 入 5 分	導 入 7 分	① p.35-36 を読む。 ② 課題を把握し、見通しを持つ。	
自分の考えを交流し、意見文に書く内容を考えよう。			変化したり、あまり使われなくなったりした言葉をさがそう。		
②メモの内容を確認する。〔5分〕	② 各自のメモの内容を確認させる。	展 開 35 分	展 開 33 分	③知らなかったもの確かめる。 「矢立て・暦・行李えもんかけ」等〔8分〕	③ 教科書の事物で知らなかったもの確かめさせる。
③ペアで読み合い意見を交流する。 〔15分〕 	◆思判表 ◇発言 ◎②主体的・対話的で深い学び			④あまり使われなくなった言葉について調べる。 ・本・学びリンク ・インターネット 〔15分〕 	④ あまり使われなくなった言葉についてインターネット等を利用して調べさせる。
④交流からわかったことを書き足す。 ・友達の考えで参				⑤調べた	

<p>考にすること。          ・考えが変わったこと。          ・新たに考えたこと。          〔10分〕</p> <p>⑤意見文に書く内容を決める。          〔10分〕</p> <p>⑥ふりかえろう          ・わかったこと考えたこと、これからどんな意見文にしたいか。          ・態度についての自己評価をする。</p>	<p>◆思判表          ◇メモ          ◎②主体的・対話的で深い学び</p> <p>・自己評価内容今日の学習がわかったか。          工夫して学習できたか。          粘り強くできたか。</p>	<p>終末5分          終末5分</p>	<p>ことを交流する。          ・わかったこと。          〔10分〕</p> <p>⑥ふりかえろう          ・変化したりあまり使われなくなったりした言葉についてわかったこと・考えたこと。          ・態度についての自己評価をする。</p>	<p>◆態度          ◇発言・ノート          ◎②主体的・対話的で深い学び</p> <p>・自己評価内容今日の学習がわかったか。          工夫して学習できたか。          粘り強くできたか。</p>
---	---	-------------------------------	--	--



自分の考えを形成する



振り返って次へつなげる



自分の考えを形成する



振り返って次へつなげる



## 理科 学習指導案

日時 令和6年9月27日(金) 5校時  
 生徒 稚内市立天北中学校 3年生 4名  
 授業者 吾妻 祐輔

1. 単元名 「運動とエネルギー 2章 力と運動」
2. 単元全体の目標】

- ・物体の運動についての観察、実験を行い、運動には速さと向きがあることを知る。
- ・物体に力がはたらく運動および力がはたらかない運動についての観察、実験を行い、力がはたらく運動では運動の向きや時間の経過に伴って物体の速さが変わることおよび力がはたらかない運動では物体は等速直線運動をすることを見いだして理解する。

### 3. 生徒と共有しているルーブリック

このルーブリックは Google クラウドの課題の「ルーブリック」機能を活用し、生徒と共有している。生徒はこのルーブリックを見ながら探究を進める。教師がつけた評価やコメントをすぐに確認することができる。

	A	B	C
<b>主・学・態</b>	仮説を検証するにあたって、既習事項を活用したり、クラスメイトと交流したり粘り強く考えたりしながら仮説を立てたり、実験計画を立てたり考察を書いたりしている。また、複数の方法を考えたり、新しい疑問を書き出したり次の学習につながるような取り組みをしようとしている。	仮説を検証するにあたって、既習事項を活用したり、クラスメイトと交流したり、粘り強く考えたりしながら仮説を立てたり、実験計画を立てたり考察を書いたりしている。	Bを満たしていない。
<b>思・判・表(仮説設定)</b>	仮説を立てる際に予想と根拠・理由を明確にして仮説を立てることができている。また、予想と根拠がしっかりと結びついている。	仮説を立てる際に予想と根拠・理由を明確にして仮説を立てることができている。	Bを満たしていない。
<b>思・判・表(実験計画)</b>	自分が立てた仮説を検証することができる実験を計画し、レポートに分かりやすく(同じ学年の人が同じ実験をできる程度)まとめている。	自分が立てた仮説を検証することができる実験を計画することができている。	Bを満たしていない。
<b>知・技</b>	実験結果を表やグラフを使って見やすく、正確に詳しくまとめている。	実験結果を表やグラフを使って見やすくまとめている。	Bを満たしていない。
<b>思・判・表(考察)</b>	考察に、具体的にどの結果からどのようなことが分かったのか自分の考えを分かりやすくまとめている。	考察に自分の考えを根拠を明確にして書くことができている。	Bを満たしていない。

